

(4) 栃木市水道ビジョン及び栃木市下水道事業経営戦略改訂について

1. 栃木市水道ビジョン（経営戦略）改訂について

●水道ビジョン・経営戦略とは

・水道ビジョンとは、水道の理想像の具現化に向け、関係者が取り組む事項や方策を示したもの

・経営戦略とは、将来に渡り安定したサービスを提供していくため、現状と課題を分析し、経営方針を立て、10年間の投資・財政計画を策定し、経営の健全化を図るもの。

●改訂理由

・栃木市水道ビジョンでは5年程度を目安に事業の進捗評価や内容の見直しを行うこととしている。また、経営戦略については、国の方針として3～5年の見直しとされており、今年度が策定から5年目である。

・令和元年度に発生した東日本台風で水道施設が被災し、投資スケジュールと投資額に乖離が生じており、投資計画の見直しをする必要がある。

・物価上昇等により財政計画についても乖離が生じていることから、財政計画の見直しをする必要がある。

●計画期間、改訂期間

計画期間 【令和6年度～令和15年度の10年間】

改訂期間 令和5年度の改訂

●主な内容

・水道ビジョンで掲げた「安全」「強靱」「持続」の基本理念は継続。

・目標に対する進捗評価を行い、目標の見直しまたは継続を検討。

・施設整備計画の見直し。

・災害時の緊急対応や安定した事業運営を持続するために、1年間分の給水収益に相当する資金の保有を目指す。

・上下水道事業調査委員会の答申に沿った料金体系と、物価上昇等の経費増を財政計画に反映。

●改訂の手順

・局内水道担当で計画の素案を検討する。

・総務省の「経営・財務マネジメント強化事業」を活用しアドバイザー派遣による指導・助言を受ける。

・栃木市上下水道調査委員会およびパブリックコメントにおける意見を反映させる。

2. 下水道事業経営戦略改訂について

●経営戦略とは

将来に渡り安定したサービスを提供していくため、現状と課題を分析し、経営方針を立て、10年間の投資・財政計画を策定し、経営の健全化を図るもの。

●改訂理由

- ・国の方針として3～5年の見直しとされており、今年度が策定から3年目である。
- ・令和4年度に上位計画である「生活排水処理構想」の見直しが行われたことを受け、投資計画に反映させる必要がある。
- ・物価上昇を財政計画に反映させる必要がある。

●前回策定との違い、計画期間、改訂期間

前回：下水道事業の現状把握

今回：現実的な収支均衡のとれている計画へ

計画期間【令和6年度～令和15年度の10年間】

改訂期間 令和5年度の改訂

●主な内容

- ・今後の更新や、災害時の緊急対応や安定した事業運営を持続するために、1年分の使用料収入に相当する資金の保有を目指すと共に、早期の基準外繰入金ゼロを目指す。
- ・上下水道事業調査委員会の答申に沿った料金体系と、物価上昇等の経費増を財政計画に反映。
- ・計画期間内に農業集落排水施設のうち3施設（西方地区2施設・大平地区1施設）の編入。
- ・藤岡の農業集落排水施設の今後の在り方について検討。

●改訂の手順

- ・局内下水道担当で計画の素案を検討する。
- ・総務省の「経営・財務マネジメント強化事業」を活用しアドバイザー派遣による指導・助言を受ける。
- ・栃木市上下水道事業調査委員会およびパブリックコメントにおける意見を反映させる。